

高齢者分科会

【計画の評価・平成29年度の施策について】

〔重点事業〕

1. 認知症施策について

社会全体で認知症の人々を支えるため、介護サービスだけでなく、地域の自助・互助を最大限活用することが重要。

(1) 認知症初期集中支援チームについて

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期にかかわる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。

- ① 「認知症初期集中支援チーム」は医療と介護の専門職（保健師、社会福祉士）3名と専門医3名の6名で1チームを設置。
- ② 対象者として、40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で、医療サービスや介護サービス受けていない人や受けていても認知症の行動・心理症状が顕著なため対応に苦慮している人などを支援している。

(2) 認知症ケアパス（わたしの暮らし手帳）の普及啓発

認知症の発生予防から人生の最終段階まで、生活機能障害の進行状況に合わせ、いつでも、どのような医療・介護サービスを受ければよいのか、これらの標準的な流れをあらかじめ示し、自分のこれまで・今・これからの暮らしや暮らし方を記載する「わたしの暮らし手帳」を作成し「どんなふうに暮らしていきたいか」をあらかじめ考えることの大切さを普及啓発する。

- ① 平成27～28年度にかがやき予防塾修了生や介護保険サービス事業者、社会福祉協議会、ランチなどの参加により検討会を開催し、内容や普及啓発方法について「わたしの暮らし手帳」を作成した。
- ② 平成29年度は、かがやき予防塾修了生と地域包括支援センターとランチが一体となって、合同で啓発普及活動に取り組んでいる。

2. 加賀市シニア活動応援事業について

地域住民の互助活動による暮らしを支える新たな取組みを推進するため、NPO等による元気な高齢者の活躍の場を整備するとともに、地域で必要とされる生活上の支援と人材をマッチングする体制を構築するため次の事業を行う。

- ① インフォーマル情報相談窓口・人材調整・派遣・登録・管理
- ② 人材・団体の発掘（養成講座の紹介・実施）
- ③ シニア活動応援事業検討会の定期開催

3. 基準緩和型の通所サービス（通所型サービスA）について

平成28年度に行った介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）における基準を緩和した新しい通所サービスの実施に向けたケアプラン調査や事業所アンケートを踏まえて、今年度は基準等を整備し、平成29年9月からのサービス開始に向けて準備を進める。

〔高齢者分科会の開催〕

第1回健康福祉審議会高齢者分科会（平成29年5月18日開催）

内容 高齢者お達者プランの実績について
地域包括支援センターの運営について
介護予防支援委託事業者の報告について
介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービスAの実施について
超高齢社会に関する市民意識調査の結果について
高齢者お達者プランの策定作業について

第2回健康福祉審議会高齢者分科会（平成29年7月予定）

内容 介護保険サービス供給量調査について
介護保険サービス量の見込みについて
市民意見交換会について

第3回健康福祉審議会高齢者分科会（平成29年10月予定）

内容 介護保険給付分析とサービス見込み量について

第4回健康福祉審議会高齢者分科会（平成29年12月予定）

内容 お達者プラン原案提示
給付見込みと保険料について
保険料多段階化設定、低所得者対策、利用者負担変更
高齢者施策について

第5回健康福祉審議会高齢者分科会（平成30年1月予定）

内容 お達者プラン最終案提示

【資料等】

・加賀市 わたしの暮らし手帳（認知症ケアパス）・・・・・・別冊1

障害者分科会

【計画の評価・平成 29 年度の施策について】

〔重点事業〕

1. 人にやさしいまちづくり

「あたりまえの生活」ができるまちづくりを目指すため、障がいや障がいのある人に対する理解の促進に努める。

- (1) 加賀市手話言語条例の施行に伴う取り組みを行う。
 - ① 「(仮称) 加賀市手話施策推進協議会」を設置し、「(仮称) 加賀市手話施策推進計画」を作成する。
 - ② 手話の普及と啓発を図るため、市民を対象とした手話奉仕員養成講座や市職員を対象とした手話講座、市内各小学校での手話教室を実施する。
- (2) こころのバリアフリー推進の取り組みを行う。
 - ① 障がい者理解の促進のため、広報、市ホームページ等を通じて、障がいに関する正しい知識の普及と理解の促進を図る。
 - ② 障がい者差別を解消するための取り組みとして、講演会等を開催し、市民、事業者に向けた普及啓発を図る。
 - ③ 障がいを理由とする差別に関する相談及び差別を解消するための取り組みを効果的に行うため、「障害者差別解消支援地域協議会」を設置する。

2. じりつと社会参加の基盤づくり

障がいのある人の一般就労促進及び福祉的就労充実のための取り組みを実施する。

- (1) 先進的取り組みを行う施設への視察研修を実施する。
- (2) 一般就労促進のための PR 事業として、支援体制や取り組みなどを説明した当事者向けチラシを福祉就労施設等へ配布する。

3. 暮らしの基盤づくり

障がいのある人が、安定した生活を送ることができる取り組みを実施する。

- (1) サービス提供事業所におけるサービスの向上及び均質化を図るため、障がい福祉サービスを効果的に利用するために必要な社会資源の活用方法について学ぶ研修会を開催する。
- (2) 加賀市じりつ支援協議会において、相談支援事業等の充実を図る検討を行う。

〔障害者分科会の開催〕

第 1 回健康福祉審議会障害者分科会（平成 29 年 6 月 29 日予定）

内容 第 5 期計画策定のための基本指針について
アンケート調査等について

第 2 回健康福祉審議会障害者分科会（平成 29 年 11 月予定）

内容 アンケート調査の結果について
第 5 期計画の方向性について

第 3 回健康福祉審議会障害者分科会（平成 30 年 2 月予定）

内容 第 5 期計画の提示について

【資料等】

こども分科会

【計画の評価・平成 29 年度の施策について】

○ 子育て安心パッケージ

子育てに対する不安や負担などを和らげ、安心して子どもを生み育てることができるよう、子育て支援事業を更に充実させます。

1 保育料の軽減

平成 29 年 9 月から、①保育園等に同時入園する第 2 子を無料に、②18 歳までの児童がいる世帯のうち 1 番目の園児を半額に軽減します。

2 多子世帯放課後児童クラブ利用助成事業

第 3 子(所得制限なし。)に加えて、低所得(年収 360 万円未満)の第 2 子の保育料を無料化します。

3 多子世帯病児・病後児保育料無料化事業

①年収 360 万円未満の第 2 子、②年収 640 万円未満の第 3 子の保育料を無料化します。

4 保育園途中入園円滑受入事業

法人立保育園において、年度途中の児童の入園に備え、年度当初から配置基準を超えて保育士等を配置している場合、その人件費相当額を助成します。

5 親子スマイリーネット事業

絵本を通して対話の楽しさと重要性を伝え、安定した親子関係の基礎づくりを支援するほか、相談記録や対応等の情報を集約化するシステムを導入し、継続した相談支援を行ないます。

6 楽しい遊び場整備事業

子どもが天候に左右されずに楽しめる、大型遊具やフリースペースを備えた楽しい安全な遊び場を、中央公園体育館の建物を活用し、整備を行います。

○ 子どもの貧困対策

当市では、これまで「子育て安心パッケージ」を展開し、教育、生活、就労、経済的支援等を総合的に行い、「安心して子どもを産み育てたい」と思われるまちづくりを推進してきました。

今年度は、子どもの貧困の実態を適切に把握した上で、必要な施策を実施します。

○第 1 回健康福祉審議会こども分科会（第 1 回子ども・子育て会議） 【6 月 21 日開催】

- 1 平成 28 年度事業の実績について
- 2 平成 29 年度の取り組み(子育て安心パッケージ)について
- 3 こどもの貧困対策について
 - (1) 実態調査
 - (2) こども未来基金

○第2回健康福祉審議会こども分科会（第2回子ども・子育て会議） 【7月開催予定】

- 1 平成30年度保育園等入園申込みの開始
- 2 かが幼稚園の認定子ども園への移行
- 3 子どもの貧困対策(実態調査票検討)
- 4 楽しい遊び場(公募等)

○第3回健康福祉審議会こども分科会（第3回子ども・子育て会議） 【11月開催予定】

- 1 平成30年度保育園等入園申込みの結果
- 2 子どもの貧困対策(実態調査結果報告)
- 3 楽しい遊び場(施設名称の公募等)

○第4回健康福祉審議会こども分科会（第4回子ども・子育て会議） 【2月開催予定】

まとめ

【資料等】 子育て安心パッケージ・・・・・・・・別冊2

健康分科会

【計画の評価・平成 29 年度の施策について】

○ 健食健歩プロジェクト

市民の健康増進を目指し、健康づくりの気運を高め、行政だけでなく・(株) タニタをはじめ、地元企業など民間や大学と協働で市民運動として取り組みます。

1 健康のまちづくり推進

健康づくりを介護・医療・スポーツの分野まで広く捉えて、庁内関係課で健康づくりワーキングを開催し協働事業として事業展開します。

- ①「かが健幸長寿講座」の実施 ②KAGA 健康フェスタの実施 ③健康のまちづくりを考える地区座談会の協働開催 ④健康のまちづくり友好都市連盟の加盟

2 ウォーキングの推進

金沢学院大学と連携し、既存のウォーキングマップの 17 コースで消費エネルギー量や筋肉負担度などの調査研究を行い、コースの特徴や運動効果を盛り込んだマップをリニューアルし、地区ウォーキング大会等で活用します。

3 ラジオ体操の推進

- ① ラジオ体操ステーション認定制度として一定要件を満たす団体に認定の証としての看板を無償貸与し広く市民に周知及び参加勧奨します。
- ② ラジオ体操物品及び CD 貸出も行います。

4 新保健センター公開行事（KAGA 健康フェスタ 2017）

運動及び食をとおした健康づくり事業と新保健センター公開行事として、平成 29 年 6 月 24 日（土）9 時～「かが交流プラザさくら」にてさくら入居団体等と協働で開催します。

5 運動と食でのアンチエイジング教室の開催

運動自主サークルのリーダー育成や冬場の閉じこもり予防のため、「かが交流プラザさくら」を拠点に運動と食の教室を定期的に行います。

6 タニタ健康プログラムの導入

- ① (株) タニタと連携し、専用の活動量計を身に着け歩数や総消費カロリーをはかり、データを送信しタニタの健康管理サイトで変化が確認できる「KAGA タニタ健幸くらぶ」を開始します。
- ② 地元野菜を使ったタニタ監修メニューの作成と普及

7 健幸ポイント事業

健康診査に受診、ラジオ体操の参加など健康づくり活動に対してポイントを付与し、抽選で景品や市内協賛店から参加賞を得て、楽しみながら健康づくりに取り組むことを応援します。

- **かがし健康応援プラン2 1（健やか親子 21 計画）中間評価（平成 25 年度～平成 34 年度）及び第 3 期特定健康診査等実施計画（平成 30 年度～平成 35 年度）、第 2 次加賀市国民健康保険事業実施計画（平成 30 年度～未定）策定**

3つの計画の中間評価及び策定を行います。

- **データヘルス計画の推進**

市町村国保は平成 28 年度から保険者の努力支援制度が実施され、これまでの特定健診受診率・特定保健指導実施率の他、糖尿病の重症化予防など、保険者の予防・健康づくり等の取り組みや収納率向上に対する取り組み等を客観的な指標により評価し、支援金が交付されるため、健食健歩プロジェクトによる健康づくりの無関心層の取り込みと重症化予防の保健指導等の強化を行います。

- **がん検診等健診体制整備**

がん検診等検診体制整備とし、平成 29 年度より内視鏡胃がん施設検診（8 医療機関）と乳がん施設検診（加賀市医療センター）を開始します。また、女性がん集団検診の休日検診（土曜、日曜、祝日）の回数を増やしたり、胃、肺、大腸に乳がん検診をセットした検診日を 5 回新設します。

- **妊娠期から子育て期の切れ目のない支援の強化**

妊娠、出産、子育て期に応じた相談支援と環境整備のほか産み育てたくなるようなまちづくりの啓発事業を行います。

1 「お腹の赤ちゃんを大切に作る加賀市生命尊重の日」制定

「いのちの始まり」であるお腹の赤ちゃんに思いを寄せ、生まれてくるお腹の赤ちゃんを一人のひととして尊重し、社会全体が温かく迎えるシンボルの日とし、7 月 13 日を「加賀市生命尊重の日」とします

※「お腹の赤ちゃんを大切に作る加賀市生命尊重の日」制定については、審議会当日、平成 29 年第 2 回加賀市議会定例会に条例案を提案することを口頭説明した。

2 子どものいのちを大切に作る啓発事業の実施

上記の制定を受け、産み育てたくなるようなまちづくりを進めるために「お腹の赤ちゃんを大切に作る」啓発講演会の開催のほか、母子手帳交付時に「いのちを大切に作る」啓発と相談支援等を今後も実施します。

3 利用者支援事業の推進

妊娠、出産、子育て期の支援において、子育て応援ステーションの設置により電話や来所、訪問による柔軟な相談対応等、母子保健と子育て支援を切れ目なく一体的に提供します。出産後、支援が必要な人には産後家庭支援ヘルパー派遣事業や産後ケア事業などニーズに応じて利用できるサービス体制を整備し必要な人に情報提供していきます。

〔健康分科会の開催〕

第 1 回健康福祉審議会健康分科会（平成 29 年 5 月 23 日）

- 1 平成 28 年度事業の実績と平成 29 年度計画について
- 2 お腹の赤ちゃんを大切に作る加賀市生命尊重の日の制定について
- 3 健康分科会スケジュール

○第 2 回健康福祉審議会健康分科会（平成 29 年 8 月予定）

内容 各計画の指標の分析評価、健康のまちづくり地区座談会のまとめ

○第 3 回健康福祉審議会健康分科会（平成 29 年 10 月予定）

内容 各計画の方向性の提示

○第 4 回健康福祉審議会健康分科会（平成 30 年 1 月予定）

内容 各計画案の提示、自殺対策基本計画策定に向けた実態調査報告

○第 5 回健康福祉審議会健康分科会（平成 30 年 2 月予定）

内容 平成 29 年度実績見込みと平成 30 年度重点事業 各計画の答申（案）について

【資料等】